

# 令和6年度通常総会

日時：令和6年5月21日(火)  
15時00分～  
会場：鹿児島サンロイヤルホテル

## 鹿環協かわら版

# みずすまし

Kakankyo

発行者

発行日 令和6年1月1日  
鹿児島県環境整備事業協同組合理事長 宮地光弘  
鹿児島市宇宿2丁目9-9  
URL <http://kakankyo.net>

3月の待ジャパンによるWBC制覇や大リーグ・エンゼルス大谷翔平選手の異

新年あけましておめでとうございます。組合員、関係者の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より組合活動にご指導、ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

ねてきました。その流れを

また、昨年は奄美群島の日本復帰七十周年の節目の組合にも大島地区に十二組合員がおられますが、今後とも率直な対話を重ねて経営力の向上に努めていく必要があることを再認識したところで、



理事長 宮地光弘

鹿児島県環境保全協会でも自主基準に沿って浄化槽の適正な維持管理に努めていくことで、各地域の皆様方の信頼・評価につなげていく必要があります。

また、昨年実施した浄化槽維持管理技術研修会において、東洋大学の山崎宏史教授から「二〇五〇年カーボンニュートラルに向けた浄化槽分野における温暖化対策」というテーマで講演をいただきました。わたしは、関係機関と緊密に連携を図りながら、スピード感を

令和五年十一月十日、マリンパレスがごしまにおいて事業主を対象に研修会が開催された。

最後になりましたが、皆様方のこの一年のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

いります。本組合は、昨年創立五十年を迎えました。このよき活動を通じて、引き続き、経営基盤の構築をはじめ、コンプライアンス活動などの更なる徹底や人材育成などに向けた諸活動を積極的に展開し、更なる生活環境の保全と公衆衛生の向上に取り組みでまいる所存であります。

引続き関係各位の一層のご支援、ご指導を賜りますようお願いいたします。

### 令和五年度 事業主研修会



▲環境保全協会 木佐貫検査部長 ▲県生活排水対策室 江畑技術補佐

講演Ⅰでは、「鹿児島県の生活排水対策について」というテーマで講師の鹿児島県土木部生活排水対策室の技術補佐 江畑由紀氏より、本県の生活排水対策行政を取り巻く話題について講演をしていただいた。

また、最新の汚水処理人口普及率や合併処理浄化槽への転換促進、浄化槽設置に係る助成制度、浄化槽の適正な維持管理など、持続可能な事業運営を推進するための様々な説明があった。

◆令和五年度  
第三十回浄化槽維持管理技術研修会

令和五年十一月十日「マリ  
ンパレスかごしま」にお  
いて、組合員及び各事業所  
から管理士等、約百六十人  
が参加して浄化槽維持管理  
技術研修会を開催した。  
講演は、まず「二〇五〇  
年カーボンニュートラルに  
向けた浄化槽分野における  
温暖化対策」と題して、東  
洋大学理工学部都市環境デ  
ザイン学科 山崎宏史教授  
による講演が行われた。  
内容は、まず地球温暖化  
の兆候や温室効果ガス排出  
量削減目標、温室効果ガス  
の基礎知識、排水処理施設  
における温室効果ガス排出  
量の算定について説明を受

けた。  
次に、浄化槽におけるメ  
タン生成の削減方法とし  
て、「嫌気環境の好気化」  
「P/Wによるメタン生成阻  
害」など、一酸化二窒素の  
削減方法として「硝化反応  
の速やかな進行」「起源と  
なる窒素成分の除去」など  
を学んだ。  
その後、浄化槽分野にお  
ける今後の温暖化対策とし  
て、「適切な規模算定」  
「ばっ気方法の改善」「浄  
化槽からのメタン・一酸化  
二窒素の排出削減」などを  
学び濃密な講演であった。  
わが国では、現在、脱炭  
素化への取り組みが急務で



▲山崎教授



▲濱田技術管理委員長



▲浄化槽研修会の様子



▲柳田氏



▲表彰を受ける吉田氏

研修に先立ち、環境大臣  
表彰が行われ、(旬)文化清掃  
社の吉田茂様が受賞されま  
した。  
吉田氏は、長年にわたる  
浄化槽関係事業功労者とし  
ての表彰であり、鹿環協副  
理事長としても組合の運営  
や後進の指導に尽力されて  
こられました。  
氏の今回の表彰を心から  
お喜び申し上げます。とも  
に、今後益々のご活躍をご  
期待申し上げます。

◆環境大臣表彰

あり、我々業界もスピード  
感を持って行動しなければ  
ならないと実感した。  
次に、「日常生活におけ  
る健康づくり」というテー  
マで、鹿児島県健康づくり  
運動指導者協議会会長 柳  
田豊氏による講演が行われ  
た。管理士は、肉体的に負  
担の大きい業務であり、日  
頃から体調管理に努める必  
要があり、体の各部位の強  
化方法や日常生活でしてい  
ない筋肉の鍛え方等の指導を  
受けた。  
講演の後、質問なども相  
次ぎ非常に有意義な技術研  
修会であった。

◆健康づくり  
研修会報告



▲研修会の状況

十月二十日、「健康づくり  
研修会」が、霧島ゴルフクラ  
ブ及びホテル京セラで行われ  
た。錦江ブロックが幹事のも  
とあいにくの雨のなか、健康  
づくりとしてゴルフコンペが  
行われた。十九名が参加して  
行われ(旬)枕崎清掃社の菊永善  
之氏の優勝で幕を閉じた。雨  
のなかでのプレイ等で時間が  
おすなかつたが、京セラホ  
テルに会場を移し、従業員の  
モチベーションアップ・働き  
がいは何から生まれるという  
題材で一般社団法人日本産業  
カウンセラー協会九州支部認  
定講師 竹下 和範氏に講演  
を頂いた。日本は、「熱意あ  
る社員」の比率を世界の各国  
と比べると相対的に低い事や  
イソップ寓話より三人のレン  
ガ職人を例に仕事の意義と目  
標設定の重要性を説かれた。  
最後に従業員のモチベシヨ  
ンアップにつながるアクション  
として上司による日頃から  
の指導内容が重要である事  
や、指導者は自分が立場上の  
優位性を持っている事を常に  
意識し部下に配慮しながら話  
すという認識の下で部下と接  
することが求められるなどの  
講和で講演が終了した。その  
後の懇親会で成績発表などが  
行われるなどして笑いの絶え  
ない楽しい会となった。

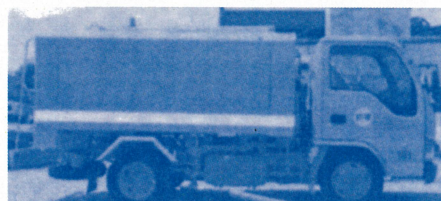
美しい水を守る  
アジグリーン工業株式会社

福岡支店 〒812-0016  
福岡市博多区博多駅南4丁目2番10号  
TEL 092-441-0222 FAX 092-441-0252  
TEL 099-257-3501 FAX 099-257-3590  
TEL 0994-43-4437 FAX 0994-43-2710  
TEL 0996-27-2905 FAX 0996-27-2915

鹿児島 営業所 〒890-0072 鹿児島市新栄町25番8号  
鹿屋 営業所 〒893-0023 鹿屋市笠之原町1561-2  
川内 営業所 〒895-0044 薩摩川内市青山町4219番地1

新 発 売

エコパネル



株式会社 モリタエコノス 鹿児島営業所  
〒890-0033 鹿児島市西別府町3010番22号 TEL 099-282-8352(代) FAX 099-282-8357

### 錦江ブロック研修会

十一月十七日始良市の音ホールにて錦江ブロック研修会を開催した。講師として第一工科大学 環境工 ネルギー工学科教授高嶋洋氏を迎えて「空と海、大地をつなぐ水循環と錦江湾の地下水」というテーマで講話をいただいた。

水は人類にとって生命を支える貴重な資源であり、日本は水資源が豊かであると思われがちだが、地形的に水をためる力が十分ではなく人口一人当たりでは世界各国と比べても決して多くない。豊富ではないにも関わらず水資源を守る法律がない。また、海洋汚染が地下水にどのような影響を与えているのか解明されておらず今後の研究課題である。地下水の窒素分が増え、地上での汚染が地下水に影響している可能性がある。地下水の汚染を防ぐ為にも木を伐採したら植林をしっかりと、必要以上に水を浪費しないことなどの内容であった。我々も水資源を守る為にも日頃の業務や漏水している浄化槽を一件でも少なくするようしなければと改めて考えさせられた。



▲講師：高嶋洋氏

### 大隅ブロック研修会

令和五年十月二十七日、鹿屋市のホテルさつき苑にて、大隅ブロック研修会を鹿児島県環境保全協会肝属支部と合同で開催した。

鹿児島県環境保全協会肝属支部支部長 栗脇士朗氏の開会挨拶後、鹿児島県環境保全協会から続けて講話があり、検査部検査第五課長 有馬憲康氏より『法定検査結果について』、総務部情報処理課検査員 乾達哉氏より『浄化槽の整備による周辺水環境の水質改善』について、同じく検査部検査企画課長 中島進氏より『鹿児島県における浄化槽台帳の整備状況について』、同じく 事務局長 牧浩一氏より『維持管理補助と長寿命化計画について』という内容について講話をしていただいた。

閉会の挨拶は大隅ブロック長 宮地光弘が行った。それぞれの業務内容によって取り組む視点が違うことを改めて感じた次第であった。講演の内容を生かして適正な水管理に努めたいと考える。



▲研修会の様子

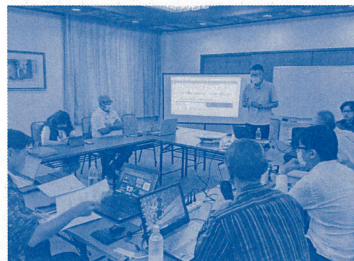
### 南薩・熊毛ブロック研修会

十月六日、霧島ソサエティ研修室にて、南薩・熊毛ブロック研修会が開催された。

当日は、㈱文化社の浦底達輝氏及びサンクリーン大東(有)の福里翔太氏が講師となり、ネクストクラウドの操作と機能に焦点を当て、連携を一層強化するためのツールとしての活用方法を解説した。この研修は、情報技術の導入が不可欠な中で、参加者に現代のツールを使いこなすスキルを身につけるための貴重な一環となった。

参加者はネクストクラウドを活用し、情報を効果的に共有し、連携を強化する方法を学んだ。ネクストクラウドは使いやすく、データの安全な共有やリアルタイムな協力が可能であり、これにより、組合会員の発展に寄与する新しいツールとして期待されている。

使い慣れないシステムを操作するので大変ではあるが、これからの情報共有システムを知る有意義な研修会となった。



▲研修会の様子

### 大島ブロック研修会

令和五年十一月二日、ホテルバームロイヤル那覇において、大島北・南ブロック合同で、組合で導入したコミュニケーションツール「ネクストクラウド」のログインや操作方法などについて学んだ。

組合では、青年部がプロジェクトごとにネクストクラウドのサポート担当者置いており、(有)文化清掃社の吉田健勝氏が講師を務めて進行された。参加者は、パソコンやタブレット持参で臨んでおり、まずはログイン方法に苦労しながらも設定が進み、「トーク「ファイル」の活用や、「カレンダー」によるスケジューリング、スマホと「カレンダー」の同期の方法などについて学んだ。

組合から、「ファイル」には、既に①鹿環協の規程や理事会・各種研修資料、みずすましなど、②全国環境連の理事会・事業推進部会資料、広報紙など、③環境省・鹿児島県各種通知など、その他業務関連情報がアップロードされていることや、大容量のデータも共有できるようになることなどの紹介があった。



▲研修会の様子

40m<sup>3</sup>/min 強力吸引作業車 風量40m<sup>3</sup>/min ラインナップ

ベストセラー SM シリーズ      水の要らない NS シリーズ      低騒音 LS シリーズ

高圧洗浄車 MOBILE JET モービルジェット

K&B 兼松エンジニアリング株式会社 KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

し尿収集 / 浄化槽点検・清掃会社様向け 基幹業務システム

エコまる EcoMaru

廃棄物業務の管理、CTIやGISなどの各種オプション充実 業務内容に合わせた独自カスタマイズにも対応いたします

オプション製品 現場でスマホ、現場で印刷! スマートフォン・タブレット 現場支援システム Android版

オンラインデモ実施中!

0800-100-5239 受付時間 9:00~12:00, 13:00~17:30(月~金)

communication consulting company 日本電算株式会社 https://nihondensan.com

令和五年度第十九回  
全国環境連全国大会

令和五年十月十三日、熊本県の「ホテル日航熊本」にて、第十九回全国環境連全国大会が開催された。「創造的復興と水の新時代」をテーマに、全国の組合員が一堂に会した。講演、大会式典、懇親会のプログラムで行われた。

講演は、二部制で行われ、まず講師に、環境省環境再生・環境循環局廃棄物適正処理推進課 課長 松崎裕司氏より「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向について」という演題で講演を行っていただいた。次に、熊本県出身の女子プロゴルファー古閑美保氏より「夢をかなえる気持ちの作り方」という演題で講演を行っていただいた。

大会式典では、全国環境連会長・長野県環境整備事業協同組合理事長 河野正美氏の大会式辞、優良役員・従業員表彰、来賓祝辞等があり、式典は滞りなく行われた。本県では、始良衛生術の下京田小春様が優良従業員表彰（勤続二十年以上）の代表として登壇して表彰を受けた。

懇親会では、来賓祝辞として環境整備職員連盟・熊本県ゆかりの議員の方々より、挨拶をいただき、私たちが行う業務への期待感を感じ一幕であった。新型コロナウイルス感染症が五類感染症移行後、初の全国大会であり、全国の組合員との交流や連携の大切さを実感した一日であった。



▲全国大会の様子



▲下京田様への表彰

◆青年部の活動報告

令和五年十一月十七日、栃木県「ライトキューブ宇都宮」において、令和五年度全国環境連青年部研修会が開催され、当組合から青年部執行部など八名が参加した。

研修会は、各種講演を中心に展開され、主な内容は次のとおりである。

第一部は、栃木県の協業組合環境整美公社 理事 川子博巳氏により「イノベートマインド 覽古考新やるなら今！過去にフォーカス」のテーマで行われた。

「し尿と業界の歴史」について、江戸時代は、し尿は農家にとって重要な肥料源で、有価物として扱われており、人間が生きた上で循環型の大きな役割を果たしていた。戦後の公衆衛生対策

や昭和二十九年に清掃法が成立し、し尿処理は市町村の固有事務とされたものの、全国の市町村の九割はし尿処理場がなく、し尿処理に苦勞していた。不法投棄に社会から厳しい目が向けられる中、①許可業者の縮め出し、市町村による直営化等の法案が提出されたこと、②全国の有志により全国清掃協議会が設立され、初代会長の永田正義氏を筆頭に全国規模の清掃事業直営化阻止闘争が行われ、勝利したこと、③昭和四十五年生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的に廃掃法が制定されたことなどが説明された。

また、業界団体として、昭和四十五年に全日本清掃協会の設立、翌年に同協会が全日本清掃協議会と日本環境保全協会へ二分、昭和四十八年の環境連の設立、平成十五年の全国環境連の設立など、業界団体の変遷と併せ、下水道の普及に伴い、昭和五十年に合特法が成立したものの、当初業務減少を実感せず、締結が進まなかったが、下水道事業が拡大していく中で、合特法の締結に向けた動きが進められたことなどを学んだ。

業界の歴史や様々な動きを学ぶことで、将来に向けて取り組むべきことを再認識させられる貴重な講演であった。さらに、第二部は元フジテレビアナウンサーの長谷川豊氏からテレビの裏側を中心に、第三部は協同組合WB S安心ネットワークが

ら異業種間の協同組合という特徴を生かした情報交流や交流に係る説明があった。



▲研修の様子

◆人権研修

令和五年九月六日、鹿児島県環境保全協会大研修室において、令和五年度人材研修を開催した。研修は、「誰もが幸せに生きるために認め合い、支え合う社会へ」のテーマで、鹿児島県人権同対策課研修推進員 常深透氏により講演された。

はじめに、人権感覚を謎解きクイズの形式で「外科医はなにもの？」との出題があり、参加者が考えることから始まった。様々な要素・条件が示される中で、外科医を男性と思込みがちなのがちな人が多いことを知らされた。

次に、部落問題（同和問題）を再認識するために、「なぜ、部落差別意識（差別、誹謗、中傷など）が生まれるのか？」「部落差別は今でも存在するのか？」「水平社宣言に学ぶ」とい



▲研修会の状況

うことについて説明があり、人を「異質」ととらえることなく、相手の多様性が尊重されるのが大事だと学んだ。その後、「人権」とはどのようなことか考えさせるDVDを視聴した。内容は、「大手商社に勤めていながら退職してフリーターを続けている息子から、パートナーを指す」と伝えられた時の親の思い、「女性の部下から、性同一性障害であることを伝えられた時、適切なアドバイスを送れないことに悩む姿」などが描かれたものであった。「大切なことは他人がどう見るかではなく、自分がどう生きるか」「社会は多様な人間で成り立つ」ということを認識させられた。

SDGs 現在世界では、頻発する紛争やテロ、異常気象、貧困など多くの課題を抱えている。この状況を悪化しないように「環境」「社会」「経済」を良い方向に変えることを目標としているのが「SDGs」と呼ばれる「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」です。 水は生命の維持に欠かせないものであり、社会を支えるインフラの最も重要な基盤の一つです。しかし、健全な水環境と水循環の維持は、日本のような先進国でも、力強い経済発展と人口増加が顕著な発展途上国や新興国の両方でも、多くの課題に直面しています。 世界中で、七億人が安全な飲料水を利用できず、二十四億人が衛生的な排水システムを利用できないと推定されています。これが、国連（UN）の十七の持続可能な開発目標（SDGs）の一つである目標「六」すべての人に水と衛生へのアクセスを確保する一である理由です。 目標は、他のSDGsの一部である水関連問題と合わせて、二〇三〇年までにこれを達成することです。

編集後記

（有）サニテック 藤白 啓伍